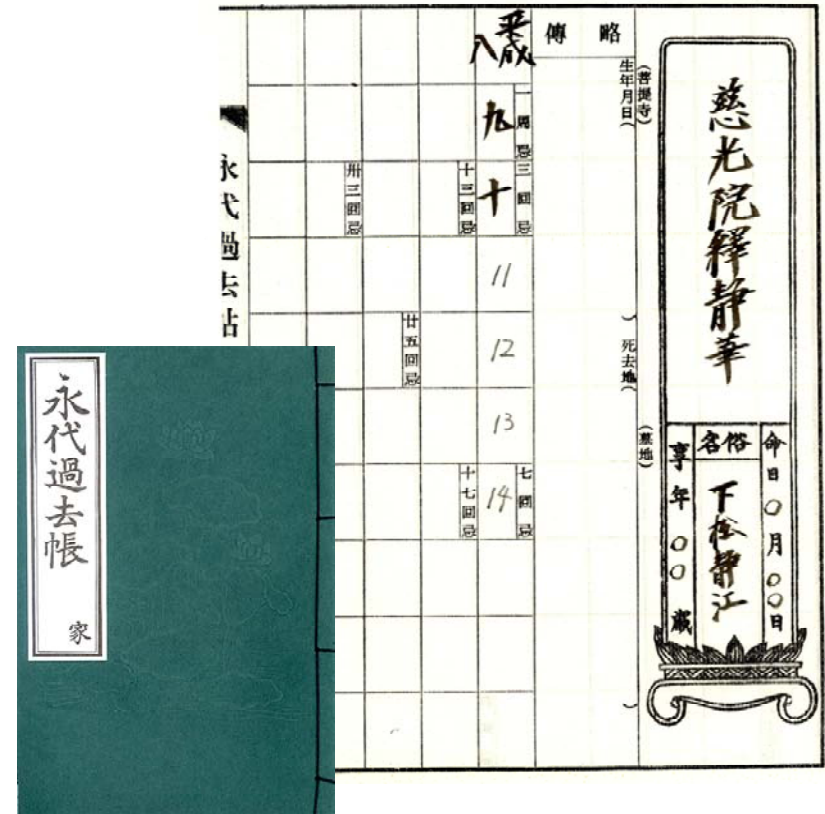


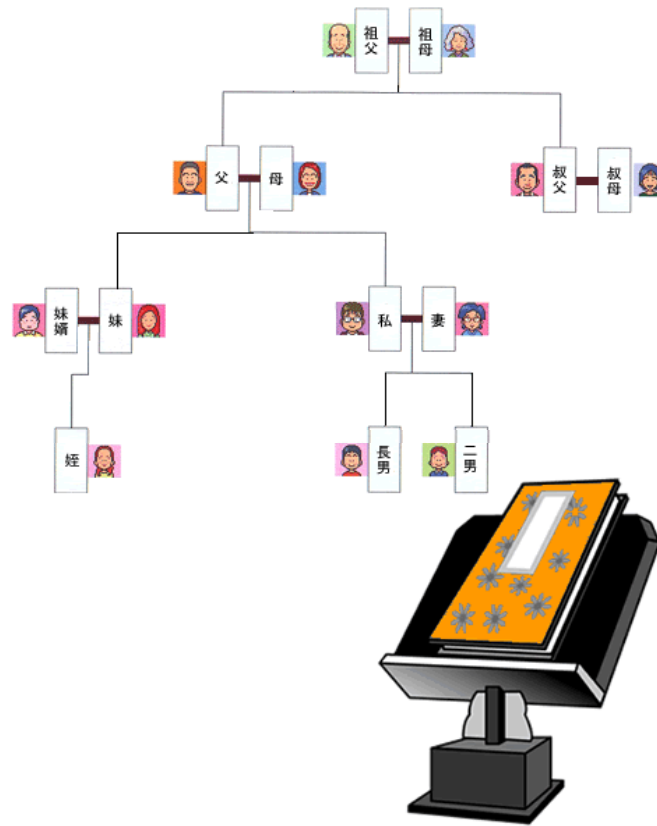
過去帳の取り扱い方



記録をとる「永代過去帳」

普段は、お仏壇の中に保管しておきますが、年の変わり目には出して新たな年号を書き加えましょう。算用数字で記載しても構いません。

古い先祖がある家は、二百～三百回忌になる場合があります。その家の歴史でもありますので、代々に伝えたいものです。



お仏壇に飾る「過去帳」

普段は、閉じて置きましょう。年忌法要（法事）や命日等には開けて、お勤めをしましょう。

《いのちのつながり》

私はタテ〔時間的〕にも、ヨコ〔空間的〕にもつながっている「いのち」であることを毎月の命日（めいじち）を通して思い起こしたいものです。

お問い合わせ

浄土真宗本願寺派

亀懷山 浄蓮寺

下松市美里町三十一番一 TEL 〇八三三・四一・一三八〇